

『「出向いて行く 教会」となる』

糸島教会へようこそおいで下さいました！！



4月16日西新教会の主任司祭、山元眞神父様が糸島教会の主任司祭としても赴任なさいました。

山元神父様は新田原教会（福岡）のご出身で、フランス人宣教師である幼稚園長先生から影響を受けられ、司祭への道に憧れ、小神学校へと進まれたそうです。

これまで、ローマ、北九州地区、筑後地区の教会、教区事務局、小神学校などで奉仕を続けてこられました。そして司祭叙階44年目の現在も、お忙しく教区報の編集委員長や幼稚園の園長をはじめ、多くの重責を担っておられます。

大変お忙しい毎日を送っておられるにも関わらず、西新・糸島両教会を兼任してくださること、感謝に堪えません。どうぞよろしくお願いいたします。



初めまして。協力司祭の山口です。67歳です。

父親は2年前に成仏（仏教徒なので）し、母親は95歳で病院生活が長いです。姉がいて、その娘の一人が母の面倒をしています。みんな、長崎にいます。僕は親族を捨ててカルメル会修道院に入ったバカ息子です。結局、その修道院も出て、徳島県で自然農業をわずか3年しました。

お世話になっていた名古屋の信徒さんに「教会に戻らないか」と声を掛けられ、「はい」と言ってしまう、徳島を去り、鹿児島教区に入りまして。それから15年。最初のミサのあいさつで述べたように、幸か不幸か、そこを去り、福岡に来ることになりました。女子カルメル会修道院の皆さんとアベイヤ司教様のお陰です。放蕩息子ながらです。

これから皆さんと「共に」歩ませていただきたいと思います。僕の特徴は、ミサの説教が短いこと、ルドルフ・シュタイナーの人智学（霊学とも言う）に学んでいることくらいでしょうか。よろしくお願いいたします。

申神父様、3年間ありがとうございました！！

復活の主日、お別れ
セレモニーが開かれました。



糸島教会の皆さん、お元気でしょうか。私は元気に過ごそうとしております。直方の方に移って、時間がこんなに早く経ったことに気づきませんでした。頑張って早く落ち着こうとしているところです。

糸島の皆さんは、相変わらずごミサに与っていらっしゃいますでしょうね。大きなお声でバッチリ、聖歌とお祈りをされている姿が、私の目に浮かんできます。そして、イエス様の御からだを持ち上げられた時、その御からだにキラキラする目を留め、その熱意を表されていたことも私は覚えています。そのような尊い時をすごせたことを、前任の主任司祭として、誠に感謝いたします。糸島教会にとっては3年の短い主任司祭でしたが、私にとってはその時間を超えるほど強烈な時期でした。（良い意味なんですよ～誤解しないように）

直方・田川という新しい司牧の場でも、私は「命をかけて」進んでいきたいです。こちらの教会については、まだまだ何も分からないんです（来たばかりやけん）。それでも、イエス様の司祭らしく努めていきたいと思います。

糸島教会の共同体の皆さんのために、お祈りいたします。私だけではなく、福岡教区で司牧されているすべての司祭のためにもお祈りをお願いいたします。

聖家族のイエス、マリア、ヨセフの祝福が糸島教会の皆さんに豊かにありますように。
アーメン。



申神父様、お元気で！
皆で直方・田川へ巡礼に
伺います!!



5月21日司牧訪問

アベイヤ司教様のお説教



第一朗読にある「雲におおわれて彼らの目から見えなくなった」とは、イエズスが目では見えなくなった。だから新しい時代が始まるということなのです。この新しい時代が始まると言うことを天に昇られたというイメージを通して語られているわけです。一番大切なのはイメージではなく、これからはイエズスとかかわりが、今までとは違った形で体験することになるということです。弟子たちはその時までにはイエズスを目でみて触ることができ、共に歩くことができました。これからは別の形でイエズスとの関わりを体験することになるということが表現されている。だから、第一朗読に「イエスは苦難を受けた後、御自分が生きていることを、数多くの証拠をもって使徒たちに示し、四十日にわたって彼らに現れ、神の国について話された」と、弟子たちの体験が語られているのです。確かにイエズスはいなくなったのです。ただその四十日間の間にこの弟子たちは互いにイエズスと過ごした時の事を話し合ったと思うのです。

それまでの事について「これは、こうだっ

たのでは」とか、「このことばを語ってください」ではないか」とか、「人々とこのように関わっていたのではないか」とか、「自分達のグループの中に社会的に排除された人たちを迎えていたのではないか」とか、このように思い起こすことによって、イエズスが彼らの歩みを支え続けていたことを深く感じていたと思います。そして、弟子たちはイエズスが、私たちをずっと支えてくださるが、今までとは違って、今度は新しい時代に入るということを少しずつ悟ってきたのです。

それはみごとに最初の朗読の最後の部分にあらわされています。ここでイエズスが昇られたというイメージが使われているので皆上を見つめている。白い服を着た二人がやってきて「ガリラヤの人たち、なぜ天を見上げて立っているのか」、今は上を見上げる時ではない、今はまわりに目を向ける時なのですよ、と言うことが表現されているのではないかと思います。

イエズス様との出会いを、今こころの中で感じ取る時なのです。イエズス様が語った言葉は今その口から聞くことは出来ないが、心の中でずっと響き続けるはずです。

今私たちはイエズス様から学んだ形で人々と付き合っていくときなのです。今上を見ている時ではない。今世界に、周りにいる人々に目を向ける時がきたのですよ。ことが成就されている。あなた方がずっとイエズス様と一緒にいたこの三年間学んできたまなざしでまわりを見てください。裁く目ではなく、いつくしみに満たされたまなざしで、人々の感じていることに共感を覚えるまなざしで

まわりを見てください。そしてイエズス様と同じような心でそのひとびとと関わってください。それによってあなたがたが求めている神の国が実現されますよといっている。じやあそれなら「今神の国を実現してくださいのですか」と言うが、これはあなたたち自身にゆだねられている使命なのですよ。

あなたがたは私が見ていたあのまなざしで人々を見て、私が人々と関わった心で人々と関わることによって、あなたがたと多くの人々が待っている神の国が実現されますよ、私の証人となりなさい。イエズスが必要としているのは証人、あかしびとです。司教司祭修道者が必要なのではなく、神の国の証人となる人が必要なのです。

パウロは第二朗読の中でこう語っています。神が「心の目を開いてくださるように」、それによって私たちはイエズスのようなまなざしでものを見、イエズスのような心で人々と関わることをできるといっています。

そして今日の福音書で大切なのは、①「ガリラヤ」に行く意味。これはイエズスの活動は主にガリラヤでした。イエズスと共に過ごしたことを忘れないでください、それをこころの支えとし土台として、これから歩んでいくってくださいということです。

②すべての民を私の弟子にしなさい。これが一番大事です。イエズスのように生きる。歌にもあります。「キリストのように考え、キリストのように話し、キリストのように行



い、キリストのように愛そう」、弟子とはキリストのように生きる人です。これが目的です。洗礼とかなんとかというのはそのための助けです。一番大切なのは弟子になること。イエズスが生きておられたように生きる。イエズスが歩まれた道を歩むことなのです。

③「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」。イエズスが共にいてくださる。それならば大丈夫。私たちの教会も歩んでいける。

今日のみことばの中で、この3つが心に響きましたのでみなさんと分かち合いたかったのです。私たちが今この教会で主の昇天を祝うということは、つぎの二つの問いかけを受け入れるということです。

1. あなた方は目をどこにむけているのか、ほんとうに周りに目をむけているか。

2. あなたの方の土台はイエズスとの関わりなのです。み言葉を聞くととき、イエズスの生き方を思い返すとき、弟子として生きる力が生まれてくるのです。

このことをみなさんに考え、行っていたいただきたいとおもいます。

そして今日の糸島教会への訪問で、ミサの前に外国からの5人の兄弟姉妹に挨拶しました。

一人はナイジェリア、一人はカメルーン、一人はブルキナファソ、一人はザンビア、一人は東チモールから来られた方々です。



(以下留学生に向けて英語で話しかけられました。)

「皆さんが来てくださったことはとても喜ばしいことです。今日は勝利された主の昇天の祝日です。私たちがイエズスを中心に集まる時、国籍の違いはささいな事にすぎません。日本の教会組織は大きくはありません。ここも小さな教会です。しかしここにはコミュニティがあります。このコミュニティに皆さんが参加されていることは恩恵であり、私たちが共にこの場所に集まっていることは私たちの強さでもあります。

どうぞこのコミュニティに積極的に参加して、互いに敬意をもって交わりを深めてゆくことに励んでください。」

盲導犬協会を訪問しました

2月12日、日曜学校の子供たち4名と保護者の方5名、指導者2名の11人で盲導犬協会に寄付を届けに行つて下さいました。



5月21日信徒総会が開かれました。

司教様の司牧訪問の日、40名以上の出席者で信徒総会を開くことが出来ました。開会にあたり、司教様からのお話を頂き、お時間の許す間、信徒のみなさんと一緒に参加して頂くことができました。



マリア会総会のお知らせ

6月25日マリア会総会が開かれます。今年のみなさんで、お食事することができそうです。こぞつてご参加下さい。

祈りの会のお知らせ

5月から祈りの会は第1・3火曜に開催しています。

初めての方も大歓迎です。祈りと交流のひと時を皆でわちあいましよう

〈6月の祈りの意向〉

「召命の願いと、教会の活動のため」

《6月の予定》

4日(日曜日) 子どもの集い

11日(日曜日) 定例清掃

25日(日曜日) マリア会総会